

# 令和5年度 事業計画

令和5年3月1日～令和6年2月29日

役員・代議員

日本油化学会組織図

事業計画

収支予算書



公益社団法人日本油化学会

# 令和5年度 役員 および 代議員

## 1. 役員

会 長	岡野 知道						
副会長	後藤 直宏	朝倉 浩一	津田 信治	西脇 永敏			
事務局長(常勤)	金子 行裕						
理 事	柿澤 恭史	本田 知紀	柴田 攻	関根 知子	坂井 隆也		
	仲川 清隆	戸堀 悦雄	八田 明生	吉村 倫一	野々村 美宗		
監 事	有村 隆志	清宮 章	野坂 直久				

## 2. 代議員

### 関東支部 定数(68名)― 代議員数(68名)

青山 敏明	朝倉 浩一	阿部 正彦	荒牧 賢治	有村 隆志	池田 郁男	今義 潤	岩井 秀隆
岩橋 楨夫	遠藤 泰志	大島 広行	太田 昌男	大部 一夫	大矢 勝	岡野 知道	岡本 亨
小山内州一	加藤 直	鎌田 正純	河合 武司	清瀬千佳子	河野 善行	小島 浩一	後藤 直宏
小林 光一	小山 匡子	近藤 行成	酒井 健一	坂井 隆也	酒井 秀樹	坂本 一民	作山 秀
佐藤 和恵	柴田 雅史	島崎 弘幸	清水 将夫	杉山 圭吉	鈴木 一昭	鈴木 敏幸	高橋 政志
高橋美奈子	滝澤 靖臣	竹原 将博	戸堀 悦雄	仲川 清隆	野々村美宗	橋崎 要	原 節子
深津 誠	別府 耕次	細川 雅史	本間 太郎	前多 隼人	松村 秀一	松本 晁暎	三浦 靖
溝部 帆洋	三宅 深雪	宮澤 陽夫	宮下 和夫	宮原 令二	山岡 正和	山下 敦史	横溝 和久
吉永 和明	依田 恵子	米山 雄二	和田 俊				

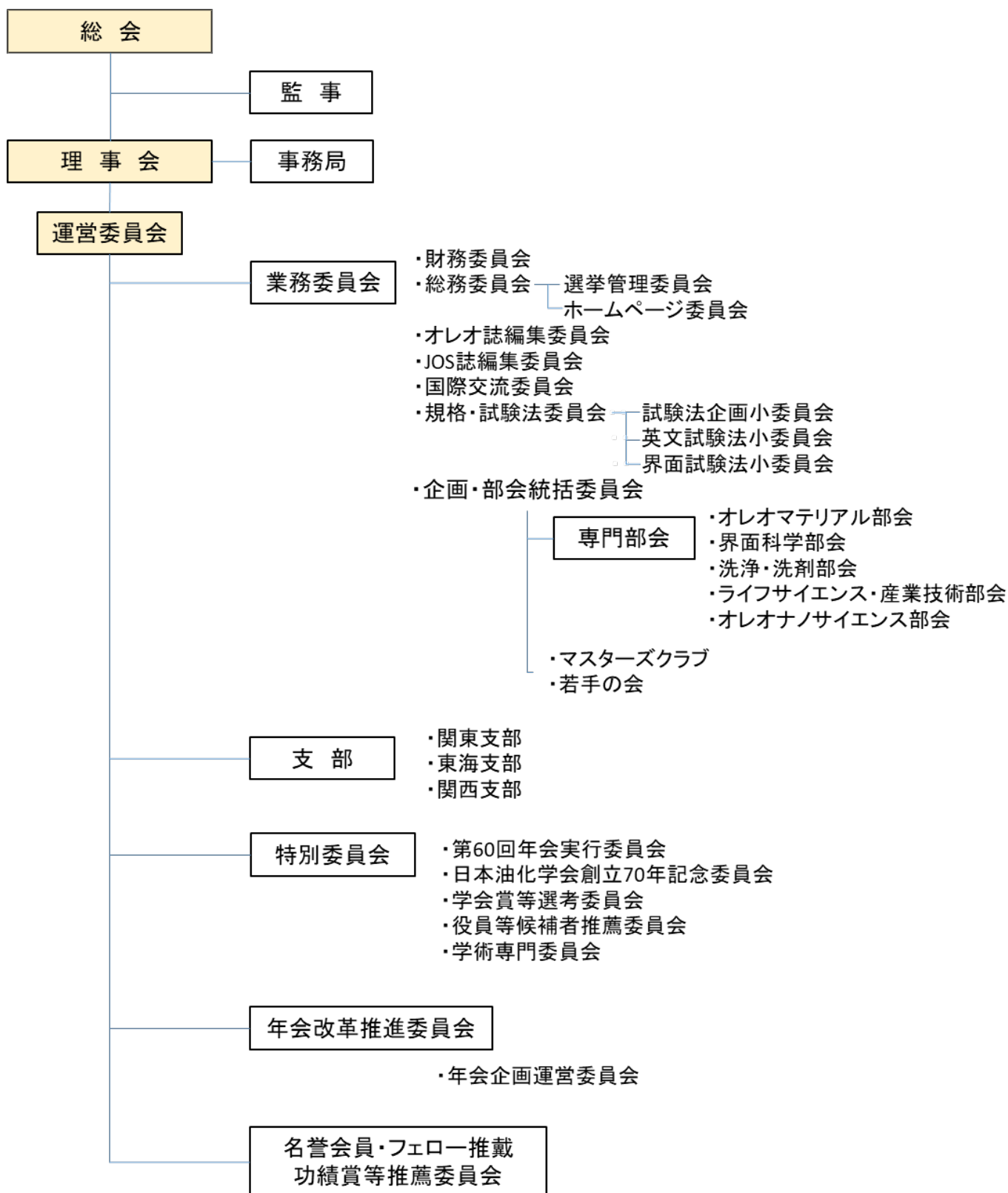
### 東海支部 定数(12名)― 代議員数(12名)

浅野 浩志	伊藤 芳郎	岩崎 雄吾	宇佐美久尚	片山 詔久	神戸 慎哉	瀧瀬 守	多賀圭次郎
八田 明生	樋口 智則	山田 義浩	山本 靖				

### 関西支部 定数(40名)― 代議員数(40名)

阿尾 信博	井奥 加奈	石田 尚之	糸乘 前	今西 豊	岩岡 栄治	植田 光一	上畑 雅司
老田 達生	太田 明雄	岡村恵美子	小野 大助	懸橋 理枝	木田 吉重	木田 敏之	北本 大
蔵本 暢浩	合谷 祥一	小松 満男	笹倉 敬司	柴田 攻	菅原 達也	武田 徳司	辻野 義雄
戸谷 永生	中辻 洋司	中原 広道	永尾 寿浩	西脇 永敏	萩森 政頼	藤谷 貫剛	益山 新樹
松村 康生	円山 圭一	宮澤 三雄	村岡 雅弘	山本 浩志	吉村 倫一	和田 浩二	渡邊 義之

# 令和5年度事 組織図



# 令和 5 年度事業計画の件

(令和 5 年 3 月 1 日から令和 6 年 2 月 29 日まで)

## <令和 5 年度の活動指針>

- ① 将来構想委員会の提言「持続可能で活発な日本油化学会への脱皮」の実現を目指します。そしてコロナ禍で様変わりした時代を良い方向に導く研究成果と人材の輩出に貢献する学会として使命を果たします。
- ② 最新の研究成果を討論する年会「第 61 回日本油化学会年会」は、4 年ぶりに in-person 方式で開催し「場の空気をたのしもう」をキャッチフレーズとして活発な討論と人脈形成ができる場を提供します。WCOS 2022 で設立した「完成度より斬新性を重視した」Select Lectures は年会でも継続して、オレオサイエンスの可能性を討論することを願う会員のニーズにこたえます。実行委員長は西脇永敏副会長、会期は 9 月 7 日(木)-9 日(土)、開催地は高知工科大学。
- ③ 若手会員の能力向上と会員増強を目指して行っている教育事業は、コロナ禍を機に virtual 開催や on-demand video が普及し主体となったのでその利便性を残しつつ、講師と受講者が活発な質問と交流ができる in-person 参加の機会も適切にプログラムに取り入れて利用者の理解がより深まるよう貢献します。
- ④ オレオサイエンスの深耕と普及に関する事業は、各専門分野を担う部会と支部が主体となって深耕の成果を魅力的な講演会として企画し、受講者が交流可能な in-person 形式で開催して普及に貢献します。
- ⑤ 学術論文誌 Journal of Oleo Science (JOS) は、一流のオープンアクセスジャーナルとして Dictionary of Open Access journal (DOAJ) に掲載されたことを弾みに、投稿数と論文の質向上に務めます。そのために、論文誌が冊子から電子ジャーナルへと急速に切り替わっていることをチャンスに捉え、電子版 JOS にアクセスして閲覧・引用しやすい web システムを構築して冊子の発刊費用を論文の質向上に転用する目途を立てます。
- ⑥ また WCOS 2022 における Select Lectures 等の選りすぐりの特別講演を特集号として発刊し、Hot な情報を国内外へ敏速に発信することを目指します。
- ⑦ 社会貢献の一環として、一般財団法人油脂工業会館との共催で実施している市民講座(地区講演会)は、本年度も 3 支部が中心となり virtual 開催も併用して開催します。

## 1. 会務

### 1.1 総会

代議員を社員とする第 69 回定時総会を令和 5 年 4 月 25 日(火)に油脂工業会館を開催基地として virtual 会議システムを併用して開催する。令和 4 年度事業報告(報告事項)、令和 4 年度決算案などについて審議し、令和 5 年度の役員を選任を行います。定時総会終了後、総会報告会を開催し、定時総会および新執行体制について報告します。さらに令和 4 年度日本油化学会の学会賞、進歩賞、ならびに功績賞および女性科学者奨励賞の表彰式、特別講演会などを開催してコロナ禍で薄れつつある会員間の親睦を深めます。

### 1.2 理事会

令和 5 年度の理事会の開催予定は 5 回。令和 5 年度の資金運用方針、第 61 回年会の開催、令和 4 年度事業報告案および決算案を審議決定します。また令和 5 年度の事業計画および予算を策定し、令和 5 年度諸事業計画の企画・実行、諸規則類の整備・改定等、重要案件を審議決定します。

### 1.3 運営委員会

運営委員会の開催予定 6 回でその他必要に応じて開催します。運営委員会および運営会議は理事会に上程する重要案件について詳細な審議を行います。さらに日本油化学会の持続的な財務基盤の構築および活動の活発化につながる議論を進めます。

### 1.4 業務委員会およびその他委員会

本会の業務を担当する総務、財務、国際交流、オレオサイエンス編集、JOS 編集の各委員会は、それぞれ公益社団法人としての内部体制と諸規則類の整備、収支バランスを踏まえた学会活動の財務的支援、海外の学術団体および工業会などとの共同活動推進、アジア中東地域での No.1 学術誌を目指した国際情報発信の強化を継続して進めます。また、企画・部会統括委員会は本部・支部・各専門部会が企画する講演会やセミナー等の事業の円滑な実施に向け、事業の内容やスケジュールの調整ならびに相互情報交換を進めます。

## 2 事業計画

### 2.1 (公 1) 研究成果の公開、人材教育、研究の奨励及び業績の表彰を行う事業

#### 2.1.1 研究成果の公開

##### (1) 日本油化学会第 61 回年会の開催

西脇 永敏 実行委員長(高知工科大学)のもと高知工科大学にて 9 月 7 日(木)~9 日(土)に開催します。「場の空気をたのしもう」をキャッチフレーズに 4 年ぶりに in-person 方式で開催し、活発な討論と人脈形成の喜びを享受できる場を提供して産学官の学術振興と交流に貢献します。特別講演には、WCOS 2022 で実現して好評だった、公募して選抜する「Select Lectures」を年会でも継続して会員が求めているオレオサイエンスの可能性を討論するための「完成度より斬新性を重視した研究発表」を行います。また従来から好評の専門部会が自主的に企画して開催するシンポジウムも一部復活させて年会の機会を最大限活用します。選ばれた Select Lectures の講演者や一般講演の優秀な発表者は、成果を表彰して称えます。そして学会賞等の受賞者には会員が集まる年会の場で受賞講演を行っていただき、研究活動を奨励します。

##### (2) 論文誌・会員誌の発行

JOS 編集委員会は、論文誌「Journal of Oleo Science」は年度内に 12 号発行します。一流のオープンアクセス誌のみを扱う DOAJ に JOS が掲載されたことを弾みとし、会員ならびに国内外研究者からの「JOS」への積極的な投稿が増えるよう、早期公開制度や関連研究者への働きかけなどを継続します。オンライン投稿審査システムを基盤に、査読者選定システムも活用して、外国人を増やすなど査読者の増加・多様化をはかります。また、剽窃チェックシステムや英文校閲を活用し、本誌の品格維持/向上にも努めます。さらに、特に内外の若手研究者の交流・ネットワーク形成等の教育的支援を通し、将来的な JOS の「国際情報発信強化」に繋がります。以上の費用を確保するために、読者の利用が進む冊子から電子ジャーナルへの急速な転換をチャンスに捉えて、冊子の発刊を取りやめてその費用を電子ジャーナルの質向上に転用するか否かの判断を年内に行います。

会員誌「オレオサイエンス」は年度内に 12 号を発行します。オレオサイエンス編集委員会は、総説約 35 件からなる特集企画、若手研究者紹介、油脂関連情報、抄録、会務記事など有益情報の早期発信を推進するとともに、高知開催の年会に向けての話題づくりや、学術専門委員会との共同企画の Topics in Oleo Science を継続して、会員が参画する紙面の充実など、さらに有用かつ魅力ある会誌づくりに努めます。また、デジタルアーカイブの WEB 公開/環境整備も継続します。

### 2.1.2 人材教育

若手会員の能力向上と会員増強を目指して行っている教育事業、フレッシュマンセミナー、実践講座、試験法セミナーなどのセミナーは、コロナ禍を機に virtual 開催や on-demand video による開催方法が多くの対象者に支持されております。その利便性を残しつつ、利用者の理解がより深まるように、講師と受講者が活発な質問と交流ができる in-person の参加機会を適切に取り入れて開催する予定です。

若手研究者・技術者の活発な交流を目的に開催している「若手の会サマースクール」は in-person 参加の形式を再開して研究および人的交流の機会を提供します。

またフレッシュマンセミナー等の人材教育のためのセミナーは、企画・部会統括委員会を開催して企画と運営に関する検討を行い進めます。そして各支部、専門部会の事業は、それぞれのリーダーのもと進めますが、企画・部会統括委員長が年 2 回開催する全体会議の場で、各講演会等のスケジュールや内容の情報交換を行い進めます。また全体会議では、理事会方針の伝達や各部会の運営状況の確認も行っております。

### 2.1.3 研究の奨励・業績の表彰

油脂・脂質、界面活性剤及び関連分野の科学・技術の進歩を奨励すると共に、著しい成果をあげた研究者を表彰します。本科学分野で著しい成果を上げた研究者には日本油化学会 学会賞を、そして本工業分野で著しい成果をあげた者には日本油化学会 工業技術者賞を授与します。若手研究者には、先進的な論文業績に対して日本油化学会進歩賞を、そして年会の選考で選ばれた斬新な研究成果については Select Lecture Award を、また一般の口頭発表の内、若手の優れた発表にはヤングフェロー賞を授与します。また英語発表の中で特に国際発信力に優れた英語の研究発表には英国王立化学会 (RSC: Royal Society of Chemistry) と共同で RSC Advances Award を授与します。そして学生の優秀な発表には学生奨励賞等を贈り研究を奨励します。

また JOS とオレオサイエンスの優れた論文著者に贈るエディター賞、インパクト賞、ベストオーサー賞、オレオサイエンス賞の授与と、学会への功績者の表彰についても継続します。

## 2.2 (公 2) 評価・試験法の標準化と普及を行う事業

品質管理や研究開発を担う技術系職員および学生の一般知識の向上と評価・試験技能の向上を目的として、11 月に第 22 回基準油脂分析試験法セミナーを virtual と in-Person の同時開催で、日本油化学会が制定した試験法の標準化と普及を図る。

## 2.3 (公 3) 地域における学術の振興と普及を行う事業

各支部による講演会・セミナー等は、油化学に関する身近な話題をテーマにした市民講座を開催し、地域における学術振興・普及に努めます。開催地域の感染状況に応じて virtual を取り入れて開催し運営します。そして支部活動の一環である(一財)油脂工業会館共催の地区講演会・セミナーは、関東支部では 10 月に福島市で、東海支部では 11 月に岐阜市で、そして関西支部では 7 月に京都府相楽郡(けいはんな学研都市)と 11 月に大阪市で、合計 4 回開催する予定です。

## 2.4 (公 4) 学術専門分野の活性化事業

専門部会では、オレオサイエンスの各学術専門領域の活性化を目的に、オレオマテリアル部会、界面科学部会、洗浄・洗剤部会、ライフサイエンス・産業技術部会、オレオナノサイエンス部会およびマスターズクラブの体制で活動を展開します。当会学術領域の基盤は専門部会が担うとの共通認識のもと、常に独自性、さらにグローバル視点を意識しながら学術専門分野の活性化と強化に努めます。また各専門部会は、部会長の指導のもと、専門性の追究と研究交流に重点をおき、専門部会主催シンポジウム・セミナー・講習会等の充実と定着化を図る。マス

ターズクラブは学際的な視点・分野横断的な視点も加えた活動を展開する。年会においては Select Lectures の成功のために本企画の普及と応募の選考に貢献する。

(457回 理事会決議)

# 収支予算書（案）

令和5年3月1日から令和6年2月29日まで

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	616,000	490,000	126,000
基本財産(一般)受取利息	99,915	84,000	15,915
基本財産(指定)受取利息振替額	516,085	406,000	110,085
特定資産運用益	2,000	2,000	0
特定資産(一般)受取利息	2,000	2,000	0
特定資産(指定)受取利息振替額	0	0	0
受取会費	29,508,000	31,007,000	△ 1,499,000
個人会員会費	7,848,000	8,857,000	△ 1,009,000
法人会員会費	21,660,000	22,150,000	△ 490,000
事業収益	26,688,000	33,574,000	△ 6,886,000
年会収益	9,873,000	0	9,873,000
A.C.O.S./年会収益	0	0	0
国際会議WCOS2022収益	0	14,554,000	△ 14,554,000
論文誌等発行収益	6,000,000	6,000,000	0
講演会・セミナー収益	9,597,000	11,802,000	△ 2,205,000
出版物頒布収益	1,218,000	1,218,000	0
受取補助金等	0	0	0
日本学術振興会・科学研究費補助金	0	0	0
受取寄付金	3,500,000	3,500,000	0
油脂工業会館	3,300,000	3,300,000	0
石鹸洗剤工業会	200,000	200,000	0
受取寄付金振替額	0	0	0
雑収益	0	0	0
受取利息	0	0	0
雑収益	0	0	0
経常収益計	60,314,000	68,573,000	△ 8,259,000
(2) 経常費用			
事業費	50,522,217	55,428,162	△ 4,905,945
役員報酬	60,000	60,000	0
給料手当	11,468,117	11,646,445	△ 178,328
退職給付費用	478,110	478,110	0
役員退職慰労引当金繰入額	384,360	384,360	0
福利厚生費	1,899,467	1,872,498	26,969
旅費交通費	2,356	70,059	△ 67,703
通信運搬費	419,404	778,032	△ 358,628
消耗品費	229,424	203,802	25,622
印刷製本費	955,796	77,953	877,843
光熱水料	72,569	63,447	9,122
賃借料	2,381,472	2,336,552	44,920
リース費	700,237	674,460	25,777
ホームページ維持管理費	0	0	0
年会費用	5,683,500	0	5,683,500
A.C.O.S./年会費用	0	0	0
WCOS2022費用	1,540,000	11,803,000	△ 10,263,000
論文誌等発行費用	11,650,000	13,400,000	△ 1,800,000
講演会・セミナー費用	9,131,000	6,898,779	2,232,221
出版物頒布費用	0	300,000	△ 300,000
国際会議交流費	300,000	300,000	0
表彰費用	1,507,000	1,507,000	0
会議費	410,489	999,000	△ 588,511
租税公課	774,700	1,000,000	△ 225,300
支払手数料	225,843	198,629	27,214
雑費	248,373	326,036	△ 77,663
管理費	12,261,922	13,184,838	△ 922,916
役員報酬	60,000	60,000	0
給料手当	7,131,741	7,288,555	△ 156,814
退職給付費用	232,090	232,090	0
役員退職慰労引当金繰入額	384,360	384,360	0
福利厚生費	1,173,619	1,173,619	0
旅費交通費	42,035	42,035	0
通信運搬費	221,523	271,120	△ 49,597
消耗品費	122,282	122,282	0
印刷製本費	46,773	46,773	0
光熱水料	43,542	38,069	5,473
賃借料	1,428,884	1,401,932	26,952
リース費	420,143	404,676	15,467
ホームページ維持管理費	86,705	200,000	△ 103,295
会議費	507,000	509,000	△ 2,000
諸会費	249,500	747,000	△ 497,500
支払手数料	59,408	72,380	△ 12,972
雑費	42,317	190,947	△ 148,630
経常費用計	62,784,139	68,613,000	△ 5,828,861
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,470,139	△ 40,000	△ 2,430,139
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,470,139	△ 40,000	△ 2,430,139
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,470,139	△ 40,000	△ 2,430,139
一般正味財産期首残高	61,595,795	55,643,070	5,952,725
一般正味財産期末残高	59,125,656	55,603,070	3,522,586
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取寄付金			
基本財産運用益	616,000	406,000	210,000
基本財産(指定)受取利息	616,000	406,000	210,000
特定資産運用益	0	0	0
特定資産(指定)受取利息	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 616,000	△ 406,000	△ 210,000
基本財産(指定)受取利息	△ 616,000	△ 406,000	△ 210,000
特定資産(指定)受取利息振替額	0	0	0
ベストオナー賞振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	25,303,606	27,200,000	△ 1,896,394
指定正味財産期末残高	25,303,606	27,200,000	△ 1,896,394
<b>III 正味財産期末残高</b>	84,429,262	82,803,070	1,626,192

(第457回 理事会決議)



# 収支予算書内訳表（案）

令和5年3月1日から令和6年2月29日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計					共通	小計	法人会計	内部取引控除	合計
	公1:研究成果公開,教育,研究奨励,表彰	公2:評価・試験法の標準化・普及	公3:地域における学術振興・普及	公4:学術専門分野の活性化						
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	616,000	0	0	0	0	616,000	0	616,000	0	616,000
基本財産(一般)受取利息	99,915	0	0	0	0	99,915	0	99,915	0	99,915
基本財産(指定)受取利息振替額	516,085	0	0	0	0	516,085	0	516,085	0	516,085
特定資産運用益	1,408	249	37	45	0	1,739	261	1,739	261	2,000
特定資産(一般)受取利息	1,408	249	37	45	0	1,739	261	1,739	261	2,000
特定資産(指定)受取利息振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取会費	0	0	0	0	14,754,000	14,754,000	14,754,000	14,754,000	0	29,508,000
個人会員会費	0	0	0	0	3,924,000	3,924,000	3,924,000	3,924,000	0	7,848,000
法人会員会費	0	0	0	0	10,830,000	10,830,000	10,830,000	10,830,000	0	21,660,000
事業収益	20,373,000	1,348,000	1,565,000	3,402,000	0	26,688,000	0	26,688,000	0	26,688,000
年会収益	9,873,000	0	0	0	0	9,873,000	0	9,873,000	0	9,873,000
A C O S /年会収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際会議WCOS2022 収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
論文誌等発行収益	6,000,000	0	0	0	0	6,000,000	0	6,000,000	0	6,000,000
講演会・セミナー収益	3,950,000	680,000	1,565,000	3,402,000	0	9,597,000	0	9,597,000	0	9,597,000
出版物頒布収益	550,000	668,000	0	0	0	1,218,000	0	1,218,000	0	1,218,000
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本学術振興会・科学研究費補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	2,500,000	0	1,000,000	0	0	3,500,000	0	3,500,000	0	3,500,000
油脂工業会館	2,300,000	0	1,000,000	0	0	3,300,000	0	3,300,000	0	3,300,000
石鹼洗剤工業会	200,000	0	0	0	0	200,000	0	200,000	0	200,000
受取寄付金振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	23,490,408	1,348,249	2,565,037	3,402,045	14,754,000	45,559,739	14,754,261	45,559,739	14,754,261	60,314,000
(2) 経常費用										
事業費	36,799,317	3,269,749	4,568,085	5,885,066	0	50,522,217	0	50,522,217	0	50,522,217
役員報酬	30,000	12,000	12,000	6,000	0	60,000	0	60,000	0	60,000
給料手当	7,918,019	1,426,204	977,732	1,146,162	0	11,468,117	0	11,468,117	0	11,468,117
退職給付費用	363,060	46,020	23,010	46,020	0	478,110	0	478,110	0	478,110
役員退職慰労引当金繰入額	192,180	76,872	76,872	38,436	0	384,360	0	384,360	0	384,360
福利厚生費	1,264,787	228,302	74,885	331,493	0	1,899,467	0	1,899,467	0	1,899,467
旅費交通費	1,649	283	188	236	0	2,356	0	2,356	0	2,356
通信運搬費	276,571	74,007	30,456	38,370	0	419,404	0	419,404	0	419,404
消耗品費	160,597	27,531	18,354	22,942	0	229,424	0	229,424	0	229,424
印刷製本費	471,489	479,673	5,171	6,463	0	955,796	0	955,796	0	955,796
光熱水料	50,798	8,708	5,806	7,257	0	72,569	0	72,569	0	72,569
借借料	1,667,030	285,777	190,518	238,147	0	2,381,472	0	2,381,472	0	2,381,472
リース費	490,165	84,029	56,019	70,024	0	700,237	0	700,237	0	700,237
ホームページ維持管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年会費用	5,683,500	0	0	0	0	5,683,500	0	5,683,500	0	5,683,500
WCOS 2022費用	1,540,000	0	0	0	0	1,540,000	0	1,540,000	0	1,540,000
論文誌等発行費用	11,650,000	0	0	0	0	11,650,000	0	11,650,000	0	11,650,000
講演会・セミナー費用	2,110,000	360,000	2,792,000	3,869,000	0	9,131,000	0	9,131,000	0	9,131,000
出版物頒布費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際会議交流費	300,000	0	0	0	0	300,000	0	300,000	0	300,000
表彰費用	1,507,000	0	0	0	0	1,507,000	0	1,507,000	0	1,507,000
会議費	152,074	3,000	253,985	1,430	0	410,489	0	410,489	0	410,489
租税公課	606,494	93,354	29,380	45,472	0	774,700	0	774,700	0	774,700
支払手数料	189,077	16,326	9,879	10,561	0	225,843	0	225,843	0	225,843
雑費	174,827	54,663	11,830	7,053	0	248,373	0	248,373	0	248,373
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
役員報酬	0	0	0	0	0	0	12,261,922	12,261,922	0	12,261,922
給料手当	0	0	0	0	0	0	60,000	60,000	0	60,000
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	7,131,741	7,131,741	0	7,131,741
役員退職慰労引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	232,090	232,090	0	232,090
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	384,360	384,360	0	384,360
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	1,173,619	1,173,619	0	1,173,619
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	42,035	42,035	0	42,035
消耗品費	0	0	0	0	0	0	221,523	221,523	0	221,523
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	122,282	122,282	0	122,282
光熱水料	0	0	0	0	0	0	46,773	46,773	0	46,773
借借料	0	0	0	0	0	0	43,542	43,542	0	43,542
リース費	0	0	0	0	0	0	1,428,884	1,428,884	0	1,428,884
ホームページ維持管理費	0	0	0	0	0	0	420,143	420,143	0	420,143
会議費	0	0	0	0	0	0	96,705	96,705	0	96,705
諸会費	0	0	0	0	0	0	507,000	507,000	0	507,000
支払手数料	0	0	0	0	0	0	249,500	249,500	0	249,500
雑費	0	0	0	0	0	0	59,408	59,408	0	59,408
雑費	0	0	0	0	0	0	42,317	42,317	0	42,317
経常費用計	36,799,317	3,269,749	4,568,085	5,885,066	0	50,522,217	12,261,922	62,784,139	12,261,922	62,784,139
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 13,308,909	△ 1,921,500	△ 2,003,048	△ 2,483,021	14,754,000	△ 4,962,478	2,492,339	△ 2,470,139	△ 2,492,339	△ 2,470,139
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 13,308,909	△ 1,921,500	△ 2,003,048	△ 2,483,021	14,754,000	△ 4,962,478	2,492,339	△ 2,470,139	△ 2,492,339	△ 2,470,139
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 13,308,909	△ 1,921,500	△ 2,003,048	△ 2,483,021	14,754,000	△ 4,962,478	2,492,339	△ 2,470,139	△ 2,492,339	△ 2,470,139
一般正味財産期首残高										61,595,795
一般正味財産期末残高										59,125,656
II 指定正味財産増減の部										
受取寄付金										
基本財産運用益	616,000	0	0	0	0	616,000	0	616,000	0	616,000
基本財産(指定)受取利息	616,000	0	0	0	0	616,000	0	616,000	0	616,000
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産(指定)受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 616,000	0	0	0	0	△ 616,000	0	△ 616,000	0	△ 616,000
基本財産(指定)受取利息振替額	△ 616,000	0	0	0	0	△ 616,000	0	△ 616,000	0	△ 616,000
特定資産(指定)受取利息振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高										25,303,606
指定正味財産期末残高										25,303,606
III 正味財産期末残高										84,429,262

注1) 当法人は、貸借対照表を公益目的事業会計と法人会計に区分していないため、一般・指定正味財産期首残高、並びに正味財産期末残高は合計欄に記載しております。